



第36回小樽市長杯 小樽カップヨットレース 開催要綱



第 36 回小樽市長杯小樽カップヨットレース公示

1. 共同主催

小樽港マリーナオーナーズクラブ、(株)マリンウェーブ小樽(小樽港マリーナ)、
JSAF加盟団体外洋北海道

2. 協力

北海道セーリング連盟、(有)祝津マリーナ、

3. 責任の所在

艇とクルーの安全の確保はオーナーの避けられない責任であり、オーナーは所有艇を十分に整備し、航海する上で必要な機能の維持と同時に荒天の海においても対抗できるクルーを養成し乗り込ませるよう万全を尽くさねばならない。

さらにオーナーは、船体、スパー、セールおよび他のすべての備品を確実に整備し、また安全備品が適正に維持格納され、それらの使用方法と置き場所をクルーに熟知させておかなければならない。

またレース艇がスタートするか否か、あるいはレースを続行するか否かは、すべて各艇の責任のみで決定される。

本レースのレース委員会及びスタッフはレースの公平な成立のみに責任を担う。

また、レースコースにおいて、主催、運営、協力に関する団体等はレース参加艇の乗員及び安全について何ら責任を負うものではない。

オーナー及び艇長は上記規定を遵守し且、クルー各人に周知徹底の上自己の責任を承知させること。

4. 適用規則

国際セーリング競技規則 2025-2029(以下RRS)、日本セーリング連盟規則、公示を適用する。

5. 参加資格

①OMOC会員及び趣旨に賛同する方。

②各艇は、有効な船舶検査証書及びそれに基づく安全備品を完備し、各艇に必要な小型船舶操縦士免許所持人の乗船と有効な通信手段を有すること。

③本レース委員会の定めるレーティングを承認する艇。

④レース中有効な保険(賠償責任保険、搭乗者傷害保険等)に加入していること。

6. クラス分け

参加艇を以下のクラスに分ける。

- ①Aクラス:本レース委員会が定めたレーティングの数字が1.080以上の艇。
- ②Bクラス:本レース委員会が定めたレーティングの数字が1.080未満の艇。
- ③クルージングクラス:気軽にヨットレースに参加したい艇で自己申告とする。

7. 参加申込み方法及び期限

令和7年9月25日(木)迄とし、所定の用紙に記入の上FAX又はEメールで送ること。

当日のエントリーは行わない。

【提出先】

㈱マリンウェーブ小樽:小樽市築港5番7号 FAX:0134-22-1337

Eメール:kojima@mw-otaru.jp

8. エントリー費

OMOC会員:12,000円 一般参加者:15,000円/1艇

※小樽港マリーナオーナーは後日請求とする。

※一般参加者(祝津マリーナ艇等)は艇長会議時に現金にて支払う事とする。

9. 受付、艇長会議、表彰式

令和7年9月28日(日)

- ① 受付7:30~7:40 ※祝津マリーナ艇は現金でエントリー費の支払いをお願いします。

- ② 艇長会議:7:45~8:00

※出艇申告の確認、リコールNO、クラス旗を渡します。

※帆走指示書の読み合わせを行います。

- ③ 表彰式 16:00頃予定

場所:小樽港マリーナ A ホール

※パーティーは行いません。

10. レース日程、スタート時刻

令和7年9月28日(日):A・Bクラス 9:55予告信号 10:00スタート。

:クルージングクラス 10:15予告信号 10:20スタート。

11. タイムリミット

全艇14:00とする。

※レース終了後、速やかにリコールNOをマリーナ事務所へ返却下さい。

※祝津マリーナ所属艇は、表彰式開始前までに返却下さい。

12. 帆走指示書

本レースの帆走指示書は事前に配布する。

13. コース

ソーセージコース(予定)

Aクラス:約12マイル、Bクラス:約8マイル、クルージングクラス:約4マイル

14. 成績の算出方法

主催者独自のレーティングにより、タイムオンタイム方式で修正結果を算出する。

15. 賞

①各クラス優勝、準優勝、3位。(各クラス優勝は小樽市長杯有り)

②各クラスファーストホーム賞。

② 参加艇全艇に景品あり。

③ 上記以外にも行う場合がある。

16. 係留場所等

本大会参加の為、小樽港マリーナに係留を希望の場合は、小樽港マリーナ「担当：小鷹」までお問い合わせ下さい。 小鷹携帯 090-6871-3257

17.中止基準

風速 15m 以上、視認距離 1000m、波高 2.5m 以上。

18. 問い合わせ

〒047-0008小樽市築港5番7号(株)マリンウェーブ小樽 内
「OMOC レース委員会」 TEL (0134) 22-1311

FAX (0134) 22-1337

担当:小島 Eメール:kojima@mw-otaru.jp

お知らせ

悪天候等による、レース延期の場合は、10月5日(日)とする。

第 36 回小樽市長杯小樽カップヨットレース帆走指示書

1. 責任の所在

艇とクルーの安全の確保はオーナーの避けられない責任であり、オーナーは所有艇を十分に整備し航海する上で必要な機能の維持と同時に荒天の海においても対抗できるクルーを養成し乗り込ませるよう万全を尽くさねばならない。さらにオーナーは、船体、スパー、セールおよび他のすべての備品を確実に整備しまた安全備品が適正に維持格納され、それらの使用方法と置き場所をクルーに熟知させておかねばならない。またレース艇がスタートするか否か、あるいはレースを続行するか否かは、すべて各艇の責任のみで決定される。本レースのレース委員会及びスタッフはレースの公平な成立のみに責任を担う。また、レースコースにおいて、主催、運営、協力に関する団体等はレース参加艇の乗員及び安全について何ら責任を負うものではない。オーナー及び艇長は上記規定を遵守し且、クルー各人に周知徹底の上自己の責任を承知させること。

2. 適用規則

国際セーリング競技規則 2025-2029（以下RRS）、日本セーリング連盟付則、公示を適用する。

3. 安全規定

レース参加艇乗船者にライフジャケット未着用者がいた場合は失格とする。

4. 競技者への通告

- 4-1 陸上での競技者に対する通告は、マリーナ会議室前の公式掲示板に掲示される。
- 4-2 海上での競技者に対する通告は、音声 1 声と共に L 旗を掲げ口頭で行われる。
L 旗が掲げられた場合は、速やかに本部船の近くへ集まる事。

5. 帆走指示書の変更

帆走指示書の変更は、スタート予定時刻 120 分前までの場合は、マリーナ会議室前の公式掲示板に掲示し、それ以降は競技者への通告 4-2 を適用する事とする。

6. リコールNO及びクラス旗

- 6-1 レース艇は予告信号後レースを終えるまで、リコールナンバー及びクラス旗を掲げなければならない。
- 6-2 リコールナンバーはバウパルピットと第一スタンションの間に掲げる事。
- 6-3 リコールNO及びクラス旗の返却をもって帰着報告とする。
- 6-4 レース艇はクラス旗（Aは緑、Bは黄、クルージングクラスはオレンジ）をバックステアー（デッキの上 1m 以上）に掲げなければならない。
- 6-5 この規則に違反したレース艇は失格とする。

7. レース日程

令和 7 年 9 月 21 日（日） A・Bクラス 9:55 分 予告信号 10:00 スタート
クルージングクラス 10:15 分 予告信号 10:20 スタート

8. コース及びレースエリア

コースはソーセージコース。
レースエリアは小樽沖。
1 マークの方位・距離はスタート前に本部船より指示する。
マーク回航は全て反時計回りとする。

Aクラス	S-1-2-1-2-1-F	約 12M
Bクラス	S-1-2-1-F	約 8M
クルージングクラス	S-1-F	約 4M

9, スタート方法

R R S規則 26 を適用する。

予告信号	スタート 5 分前	マリンウェーブ旗	掲揚	音声 1 声。
準備信号	スタート 4 分前	I 旗	掲揚	音声 1 声。
1 分前信号	スタート 1 分前	I 旗	降下	長音 1 声。
スタート信号		マリンウェーブ旗	降下	音声 1 声。

クルージングクラスはA・Bクラススタートの20分後にスタートとする。

10, スタートライン

スターボードの端にあるオレンジ旗を掲揚したポールと、ポートの端のスタートマーク②の間とする。スタート信号後 10 分をもってスタートラインは解消される。

11, 機関の使用

レース艇は準備信号後、レースを終えるまでの間は機関の使用は許されない。
但し、クルージングクラス参加艇でオートパイロットを使用する艇はこの限りではない。

12, リコール

- 12-1 スタート信号 1 分前から、ヨットの艇体がスタートラインまたはそのどちらかの延長戦のコースサイドにある場合は、本部艇にX旗を掲げ、音響信号一声を発する。
- 12-2 X旗掲揚の時間は全てのリコール艇がコースサイドからスタートラインの延長線を横切り、プレススタートサイドまで完全に復帰するまで、或いはスタート信号後 10 分間のいずれか早い方とする。

13, ゼネラルリコール

- 13-1 多数のレース艇が早すぎるスタートをして、これを見分けることができない場合、又はスタートの手順に誤りがあった場合は、第一代表旗を掲げ音響信号二声を発する。
- 13-2 新しい予告信号は第一代表旗の降下（音響信号 1 声を伴う）1 分後に発せられる。

14, レースの延期

- 14-1 スタートしていないレースの延期は、AP 旗（回答旗）を掲げ音響信号 2 声を発する。
- 14-2 新しい予告信号は AP 旗（回答旗）降下後（音響信号 1 声を伴う）1 分後に発せられる。

15, レースの中止

スタート信号後、レースを中止し、再スタートする場合は、N旗を掲げ音響信号 3 声を発する。

16, コースの短縮

コース短縮は本部艇又は運営艇にクラス旗及びS旗を掲げ音響信号 2 声を発する。この場合、トップ艇がまさに回航せんとするマークとS旗を掲げたポールとの間でフィニッシュするものとする。

17, コースの次のレグの変更

スタート後のコース変更はない。（※風上、風下のコースではありません。）

18, マークの回航

マークの回航は反時計回りとする。

19, マークの紛失

マークが紛失又は移動した場合、レース委員会は出来ればこれを定められた位置に戻すか、M旗を掲げた運営艇（あるいはマーク）でこれを代替させる。

20, フィニッシュ

フィニッシュラインは、マークとブルー旗を掲げた本部艇（あるいは運営艇）のボールの間とする。

21, タイムリミット

各クラス当日の14:00とする。

22, 抗議

22-1 抗議をする艇は、レース海面を離れる前に、本部船に口頭または電話（090-6871-3257）でその意思を伝えなければならない。

22-2 抗議旗は赤旗とし、RRS61に基づき抗議しなければならない。

22-3 抗議は主催団体が準備する書式に記入し、最終艇のフィニッシュ後 60分以内に提出しなければならない。

22-4 審問の日時と場所を抗議締切時間後、直ちに口頭にて指示するので、抗議艇及び被抗議艇の艇長は指定された日時・場所に 出頭しなければならない。

※ 抗議及び救済の申し出のある人は早い時期に本部艇携帯（090-6871-3257）まで一報下さい。

23, 申告及び報告

23-1 リコールNO及びクラス旗を受け取るにより出艇申告に代える。

23-2 フィニッシュ後はすみやかにリコールNO、クラス旗を返却することにより帰着申告に代える。

※小樽港マリーナ所属艇以外の艇は、表彰式開始前までに返却する事。

23-3 リタイヤした競技者はレース委員会又は本部船にその旨を自ら伝えなければならない。

24, 失格に代わる罰則

24-1 本レースは、RRS44.2(2回転)を適用する。

自艇がRRS第2章「艇が出会った場合」の規定に違反したことを認めたレース艇はルールに基づいた手続きを行うことで失格を免れることができる。

24-2 但し接触の回避行動をとらず他の艇に重大な損傷を与えた場合はその艇を失格とする。

25, 特別規程

本レースは下記の特別規程を設ける。

①クルージングクラス参加艇は、オートパイロットの使用を認める。

本部船連絡先：090-6871-3257（小鷹） 本部船ボート マリンウェーブⅡ ヤマハFR46

運営艇連絡先：090-4876-5766（角野） 運営艇ボート マリンウェーブⅢ ヤマハPC41

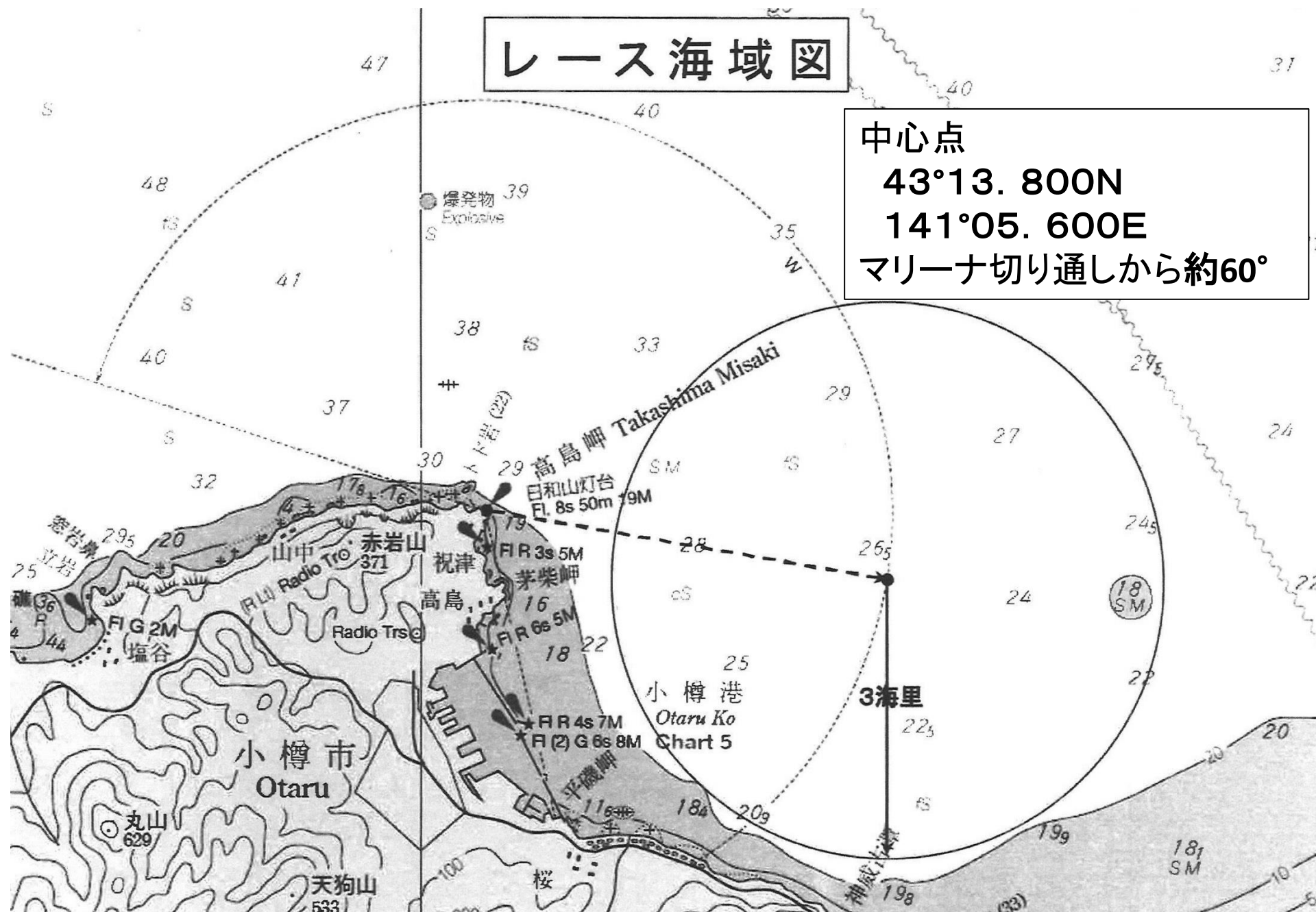
レース海域図

中心点

43°13. 800N

141°05. 600E

マリーナ切り通しから約60°



第36回小樽市長杯小樽カップヨットレース 実行委員会 殿

FAX (0134)22-1337

第36回小樽市長杯小樽カップヨットレース 出艇申告書

クラス	リコールNO	レーティング(修正後)
-----	--------	-------------

艇 名	艇 種	OMOC会員・非会員 (○印をつけて下さい)
-----	-----	---------------------------

レース中の連絡先(携帯電話番号)	
------------------	--

乗員名簿	氏 名	TEL(必須)	携帯番号
1 艇長			
2 クルー			
3 //			
4 //			
5 //			
6 //			
7 //			
8 //			
9 //			
10 //			
11 //			
12 //			
計			

上記の通り、「第36回小樽市長杯小樽カップヨットレース」に出艇を申告いたします。
尚、レース中及び回航中を問わず、艇と乗務員の全ての安全責任は、各艇及び船長に有る事を
誓約いたします。

2025 年 月 日

艇長署名

エントリー費

OMOC会員/1艇	12,000
一般参加者/1艇	15,000

○を付けてください

合計 円

9月25日(木)までにレーティング適用申請書と合わせてFAXまたはEメールにてお申込みをお願いします。

Eメール **kojima@mw-otaru.jp**

第36回小樽市長杯小樽カップヨットレース レーティング適用申告書

フリガナ		製造会社 及び艇種	例:ヤマハ26C、ヤマハ26S等
艇名			
ホームポート		携帯電話番号	

修正要素申告欄

該当項目に○をつけて下さい。

○印	NO	補正值	修正要素
	α 1	-0.03	メインファアラー装備
	α 2	-0.03	シングルハンド(※1)
	α 3	-0.02	ソリッドペラ(固定ペラ)
	α 4	-0.02	スピンセイル・ジェネカー未使用(※2)
	α 5	-0.02	セルフタッキングジブ装備
	α 6	0.01	船底塗装なし、陸置艇
	α 7	0.03	レース用セイル使用(※3)
	α 8	0.02	昨年度小樽カップヨットレース クラス前年度優勝
修正値合計			

(※1)シングルハンドは、レース参加者が1名の場合に適用。

(※2)無しで申告後、レース中使用した場合は+0.04の修正。有りで申告後レース中使用しなかった場合は訂正なし。

(※3)ダクロン・テトロン以外のセイル使用の場合適用。

2025年 月 日

艇名

記入者氏名

基本レーティング

プラス マイナス

修正值

$$=$$

最終レーティング

2025OMOCレース委員会 レーティング表

タイプ	RT	艇名
X41	1.370	アルタイルⅢ
X37	1.300	nisat
ヤマハ33S	1.220	ラファミール
ハルベルグラッシー46	1.180	イソラベラ
ファースト435	1.180	すばる
ファースト36.7ST	1.180	シーフラワー
シーム31	1.180	アリス
ジャヌーサンオデッセイ40	1.160	サザンクロス、Voyage
ジャヌーサンオデッセイ409	1.160	鯨背
ヤマハ31フェスタ	1.160	クレイジードルフィン
ファア1220	1.159	D-Bros α
ヤマハ30R	1.150	マリーナ社有艇
スワン36	1.140	カバリーノ
ヤマハ34s	1.140	ミルキーウェイV
ピアソン38	1.140	マルシュ
サンレジェンド41	1.140	キャプテン
グランドソレイユ37	1.120	レラカムイⅣ
オセアニス39	1.140	航
デュフォー360	1.140	フィールドオブドリームス
ヤマハ31S	1.130	エメラルダス、クレール
ヤマハ30S	1.125	Aya
ファア30	1.125	ミズナギドリ
ハンターレジェンド355	1.120	エトピリカ
プラトウー25	1.120	マリーナ社有艇(ライトニングローズ)
ナウティキャット42	1.090	クイーンフラミンゴ
アイランドパケット40	1.090	ドリームウィーパー
ハルベルグラッシー36	1.087	ミラコスタⅡ
ナウティキャット39	1.085	オーシャンズV
バンクーバー34	1.080	SANDMOON
ヤマハ31EXⅡ	1.080	ネレイド
ハンゼ345	1.079	JJ
ハンゼ342	1.079	マーチⅢ
ヤマハ34EX	1.079	JINGU
オカザキ34	1.079	ホワイトイーグル
オカザキ33	1.079	夢
ブルーウォーター33	1.079	結悠咲
デュフォー335	1.078	ブルーマリン
ヤマハ32EX	1.078	オーシャンズⅣ、波光
ウィナー9.5	1.075	リュウセイ
ノーテック34	1.071	快世郎
ヤマハ30S	1.070	ノーザンライツ、ブルーピーター
ヤマハ31SH	1.070	ラボワール
C&C30	1.070	スパークル
ヤマハ30CⅡ	1.065	KEI30
アレリオン28	1.065	メフィストフェレス
ヤマハ31EX	1.060	ビバーク、ブルーラグーン、Aya
ジャヌー31	1.060	ジャヌー
ヤマハ26ⅡS	1.060	アッパーⅡ
ヤマハ30CRS	1.060	アストラ
アレリオン26	1.060	うみまるアレリオン
ヤマハ28S	1.050	ロングジョンシルバー5、エメラルダス
バンドフェット30	1.050	チャブチャブ、ドラゴンフライ、ララ&ララ
ハンゼ315	1.048	アミューズ
オセアニス32	1.030	ベイスリー
P30	1.000	エブリデイサンデイ
ナウティキャット32	1.000	サクラ
ジャヌー28	1.000	江戸屋丸、
ヤマハ26C	0.990	エランⅡ、MOS、ピノアジュンタ
ヤマハ23Ⅱ	0.990	マーサ、レッドジャケット
アルバトロッサ26	0.960	Hamachan
ヤマハフェスタ24	0.960	ベイスリー
コンパック27	0.960	ウインダム
ヤマハ25マイレディ	0.950	かもめ、Isola
ヤマハMS24	0.920	星海雲樹号

※本レーティング表に記載のない艇種はお申込み確認後、レース委員会にてレーティングを決定します。